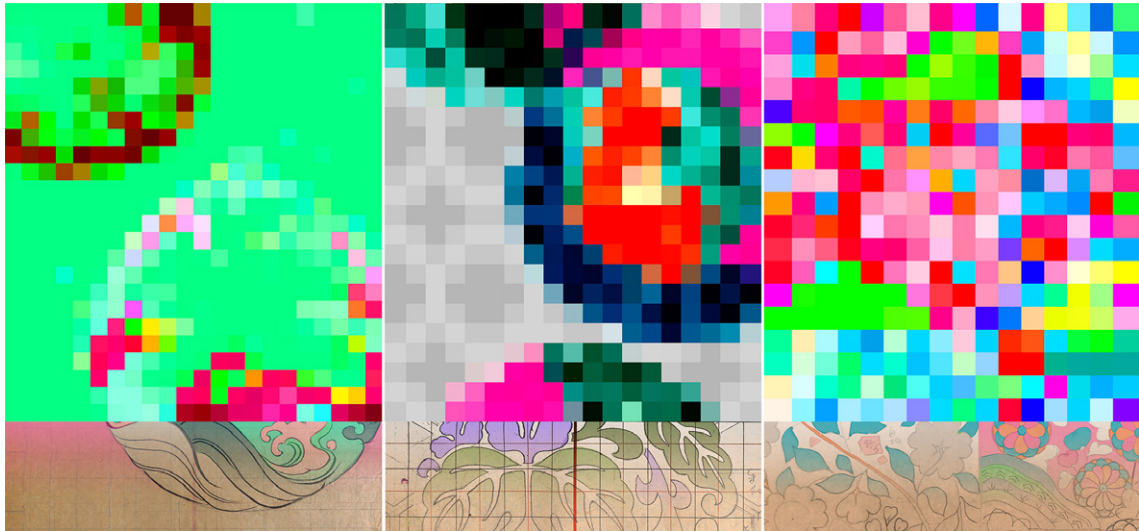


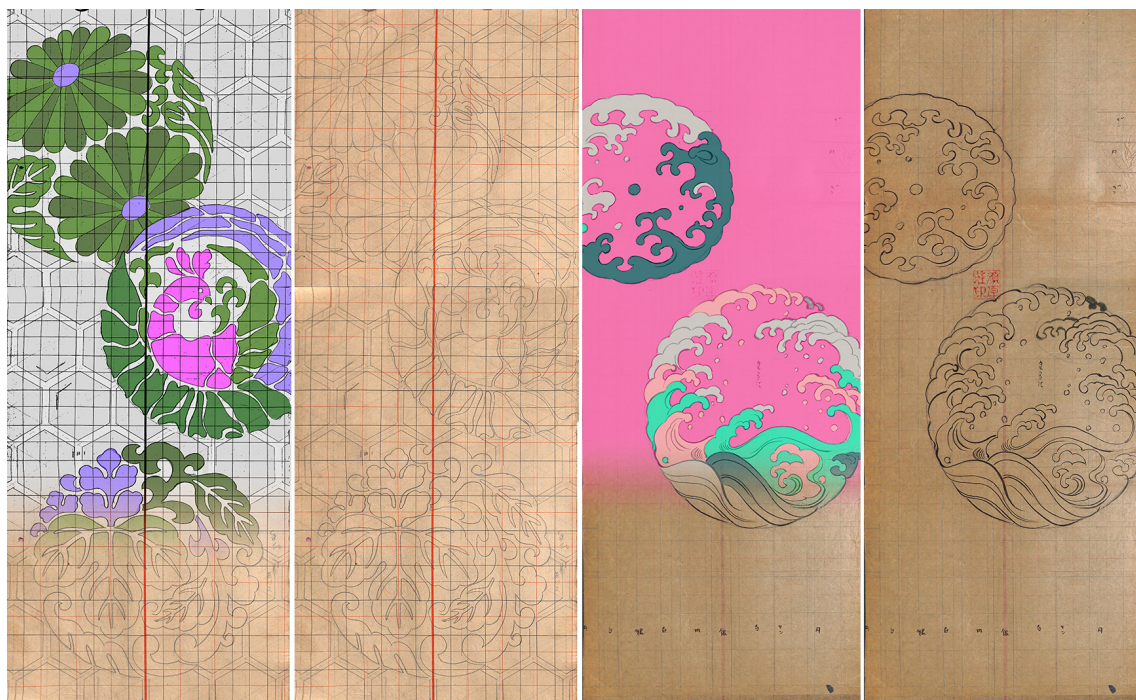
HOSOO Research & Development Project vol. 4

「MILESTONES—余白の図案」展 開催



株式会社 細尾は、2022年4月23日（土）より、京都伝統産業ミュージアムにて、「MILESTONES—余白の図案」展を開催いたします。本展「MILESTONES—余白の図案」は、京都・西陣にある細尾の工房に残された約2万点の帯図案がもつ「余白」のデザインに着目する展覧会です。

2014年から発足した「MILESTONES」プロジェクトは、株式会社 細尾と京都芸術大学による産学連携の取り組みとして、次世代が活用できるアイデアソースとするため、約2万点に及ぶ帯図案のデジタルアーカイヴに取り組んできました。本展は、この膨大なデータ資源を活用し、堂園翔矢（コンピュータ・デザイナー／プログラマー）が機械学習によって生成した新たな図案と、「カラーとコンセプト」を特徴とするクリエイティヴ・ユニットSPREADが、独自の解釈で着彩した過去の図案をインスタレーションとして公開する展覧会です。



「図案」という言葉は、明治期に「デザイン」の訳語として生まれました。その源流の一つは、京都における工芸の近代化です。以来、図案をベースにした工芸の創作活動は、産業、教育の両面から一般に普及していきました。西陣織もその例に漏れず、約20もの分業された工程の一番はじめにあるのが図案の作成です。本展で紹介する約2万点の図案は、その下書きにあたる未着彩の図案です。慣例として、何世代にもわたり文様の意匠を受け継げるように着彩したものは残さず、時代に応じた色を入れる余地を残しています。それは、まさに図案家が後世のクリエイションのために残した「余白」です。

生産の現場で受け継がれる「余白の図案」は、デザインの可能性を再考するための一つの道標（マイルストーン）となるでしょう。本展では、今の時代ならではの機械学習と着彩による図案の現代訳を通して、デザインの考え方そのものを考察します。

MILESTONES

京都芸術大学との産学連携のプロジェクトであり、株式会社 細尾が所蔵する約2万点の伝統的な図案をデジタルアーカイブすることで後世に残すとともに、学生のダイナミックな感性で、帯図案を新しいデザインに展開することを目指し発足。参加する学生は、細尾真孝（同社代表取締役社長）の主導のもと代々受け継がれてきた手書きの帯図案を一枚一枚手作業でスキャニングし、デジタルアーカイブすると同時に、各図案（吉祥文様や季節のモチーフなど）に込められた意味のリサーチを進めている。

堂園翔矢

コンピューショナル・デザイナー／プログラマー 1988年生まれ、東京都在住。データやアルゴリズム、機械学習を用いた領域横断的なデザインやリサーチを中心に活動。直近のプロジェクトに深地宏昌との共作「4D DRAWING」(2021) 西陣織の老舗・細尾との共同研究開発「Quasicrystal」(2020) がある。アルスエレクトロニカ、文化庁メディア芸術祭など受賞多数。

SPREAD

山田春奈と小林弘和によるクリエイティブ・ユニット。長い時間軸で環境を捉えるランドスケープデザインの思考と鮮烈な印象を視覚に伝えるグラフィックデザインの手法を融合。環境・生物・物・時間・歴史・色・文字、あらゆる記憶を取り入れ「SPREAD＝広げる」クリエイティブを行う。主な仕事に「国立新美術館開館10周年」記念ビジュアル工場見学イベント「燕三条 工場の祭典」など。

主催：株式会社 京都産業振興センター 共催：京都市 協賛：デビス株式会社 協力：株式会社細尾、京都芸術大学
キュレーション：井高久美子 ディレクション：細尾真孝 空間構成：周防貴之 宣伝美術：SPREAD 参加作家：堂園翔矢

< 展覧会概要 >

「MILESTONES—余白の図案」

会期：2022年4月23日（土）-2022年7月18日（月）

会場：京都伝統産業ミュージアム

京都府京都市左京区岡崎成勝寺町9-1 京都市勧業館みやこめっせ地下1階

電話：075-762-2670

開館時間：9:00-17:00（入場は閉館の30分前まで）

入場料：一般当日800円（18歳以下無料）／前売り・学生・各種割引500円

< HOSOOについて >

『細尾』は元禄年間（1688年）、京都西陣において大寺院御用達の織屋として創業しました。京都の先染め織物である西陣織は1200年前より貴族をはじめ、武士階級、さらには裕福な町人達の圧倒的な支持を受けて育まれてきました。『細尾』は今、「帯」や「きもの」といった伝統的な西陣織の技術を継承しながら、革新的な技術とタイムレスなデザイン感性を加えることによって、唯一無二のテキスタイルを生み出し、国内外のラグジュアリーマーケットに向けて展開しています。
www.hosoo.co.jp

